

第 27 回ビジネスアーキビスト研修講座 開講案内

対面授業&オンラインのハイブリッド開催!

ビジネスアーカイブズ(企業アーカイブズ)に必須の知識を各分野の専門家が講義する、日本で唯一の歴史ある講座です。企業史料やビジネスアーカイブズの目的・意義、紙資料・物資料・デジタル資料の管理・活用・保存、企業・機関における優れた事例を実際の担当者が紹介する「事例研究」など、多彩な内容を揃えたカリキュラムが特徴。企業の幅広いアーカイブズ活動を担うアーキビストの知識と技術の向上に貢献します。

初心者向けの「基礎コース」ではビジネスアーカイブズの基本をしっかりと学びます。経験者向けの「応用コース」はテーマを絞って深く学び、講師との意見交換も行います。また、基礎・応用の全コースを受講された方には修了証を発行します。

今年は3年ぶりに東京大学本郷キャンパスの経済学研究科学術交流棟・小島ホールで対面の講義を再開し、同時にオンラインでも開講いたします。ご都合にあわせて参加方法をお選びください。カリキュラム詳細は次ページを、また裏面の開講要領もあわせてご覧ください。

2022 年開講日程

基礎コース(4日間受講)

- 1 10月3日(月)
- 2 10月11日(火)
- 3 10月17日(月)
- 4 10月28日(金)
 - * 基礎コース4終了後に 交流会あり

応用コース(希望日を選択し受講)

- 1 11月4日(金)
- 2 11月18日(金)
- 3 11月24日(木)
- 4 12月1日(木)
- 5 12月7日(水)
- 6 12月15日(木)

授業時間 各日とも 13:30~16:45

会場東京大学経済学研究科学術交流棟・小島ホール(文京区)

企業史料協議会 事務局

〒101-0061 東京都千代田区神田三崎町2-20-3 水道橋西口会館901 一般財団法人日本経営史研究所内 TEL 03-3234-6358 FAX 03-3239-5090 メール info@baa.gr.jp ウェブサイト https://www.baa.gr.jp

研修講座カリキュラム 基礎コース

基 礎 1	10月3日(月) 2F 第3セミナー室 13:30~16:45 (途中15分休憩) 講師 保坂 裕興 学習院大学文学部教授 (大学院アーカイブズ学 専攻)	アーカイブズの意義とアーキビストの役割 企業史料を保存管理するアーカイブズと、その担当者であるアーキ ビストの役割や業務内容を学ぶとともに、そのあり方を考える。ビ ジネスアーキビスト必聴の基礎講座。
基礎 2	10月11日(火) 2F第3セミナー室 13:30~16:45 (途中15分休憩) 講師 佐々木 聡 明治大学経営学部教授	経営史的視点と企業史料 会社史編纂や経営史研究の経験から、経営史的研究の視座やフレーム ワークを示したうえで、企業史料の種別を考える。また、経営史的視 座で取り組んだ会社史(資料編)や経営史的ケーススタディの事例を 取り上げて、何を描くことができたかを紹介する。
基礎3	10月17日(月) 2F第3セミナー室 13:30~16:45 (途中15分休憩) 講師 橘川 武郎 国際大学副学長 同大学院国際経営学研究科教授	社史とアーカイブズ概論 会社史編纂の基礎を学ぶとともに、会社史編纂と史料の関わりを考え、デジタル時代の会社史編纂を自社のアーカイブズに結び付ける方法を学ぶ。
基礎 4	10月28日(金) 1F 第2セミナー室 13:30~16:45(途中15分休憩) 講師 森本 祥子 東京大学文書館准教授	アーカイブズの価値と実践:文書作成から保存活用へ アーカイブズが果たしている役割からその価値を考察する。 文書作成から活用に至る道筋とその構築について、アーカイブズが置かれた環境(制度・リソース)により どう対応するか、ということを主眼に講師の実務経験を踏まえて講義する。
	16:45~17:45 交流会	講義終了後、講師も参加して、参加者同士の交流を図ります。

* 基礎コースは基礎 1~4 セットでの受講となります。各日ごとの受講は承れませんのでご了承ください。

研修講座カリキュラム 応用コース

応 用 1	11月4日(金) 1F第2セミナー室 13:30~16:45(途中15分休憩) 講師 佐藤 政則 麗澤大学大学院経済学研究科教授	デジタル文書と企業アーカイブズ 会社資料が紙ものだけの時代には、地味で厄介な仕事だった企業資料管理。でもデジタル資料がすべての今はちがいます。社風にあったやり方で、会社資料を駆使して自社の魅力を社内外にアピールしていく、それが企業アーカイブズへの期待になりつつあります。それでもやはり基本は大事です。講師の豊富な経験に基づいて、能動的企業アーカイブズの基本をガイドします。
応用2	11 月 18 日 (金) 1F 第 2 セミナー室 13:30~16:45 (途中 15 分休憩) 講師 伊藤 真 ライツ法律特許事務所 弁護士・弁理士	ビジネスアーカイブズに関わる著作権等の法律について ビジネスアーカイブズ作成の際に必要となる著作権をはじめとする 法律について、今まで法律を学ぶことのなかった方にもわかりやす いように説明する。20年前に話題となったポスターを社史に掲載す る場合、誰の許諾が必要なのか、また法とは別に誰に連絡しておく べきなのか。デザイナー、カメラマン、女優、ヘアデザイナー、広 告代理店 etc。連絡先が分からないときはどうするか。このような実 際の事例を出来るだけ多く用いたいと考えている。

11月24日(木) 2F 第3セミナー室 デジタル資料論:基礎と実践 13:30~16:45 (途中 15 分休憩) 本講では、最初に所謂「資料論」の体系におけるデジタル資料の位置 応 づけを概括した上で、アナログ資料とデジタル資料の類似点や相違点 用 など、両者の基本特性を整理する。 講師 小島 浩之 3 次にこの議論を受けて、企業資料に含まれるデジタル資料の留意点に 東京大学大学院経済学研究科講師・経済学部 ついて、作成・選別・保存・公開といったアーカイビングの諸段階ご 資料室室長代理 とに考察する。 ① ビジネスアーキビストのための資料保存と管理 **12月1日(木)** 2F第3セミナー室 13:30~15:00 資料には物質としての寿命があり、素材や利用法により、その寿命が とても長いこともあれば、そうでない場合もある。資料を末永く利用 可能な状態に保つために、必要な日常管理方法や、災害対策、応急処 講師 吉川 也志保 置法、様々な修復方法についての基礎知識を学ぶ。 二松學舍大学 非常勤講師 応 用 ② 資料保存マネジメント 12月1日(木) 2F第3セミナー室 4 多様な媒体からなるビジネスアーカイブズをより長く保存し活用して 15:15~16:45 ゆくために、最低限しなければならないこととは何か? 本講義で は、「プリザベーション(=資料保存マネジメント)」の基本的な考 講師 矢野 正隆 え方を、具体例とともに解説することにより、地に足をつけつつ現場 東京大学大学院経済学研究科 助教 の動き全体を俯瞰するための視点・方法を提案する。 ① 企業ミュージアム概論 **12月7日(水)** 2F 小島コンファレンスルーム 企業ミュージアムのあり方はますます多様化している。目的や機能が 13:30~15:00 多岐にわたるだけでなく、特徴的な空間や活動も数多く見られてい る。そして、コロナ禍を受け、ミュージアムのあり方はさらに大きく 講師 石川 貴敏 変わろうとしている。企業のミュージアムはこの変革をどのように受 株式会社丹青研究所 文化空間情報部部長 け止めていけばよいだろうか。利用者とどのように対していけばよい だろうか。現在の社会情勢を踏まえながら、「VUCA」の時代におけ 応 る企業ミュージアムについて、最近の傾向と将来像を報告する。 用 5 ② ヤマトグループの創業 100 周年記念事業 **12月7日(水)** 2F 小島コンファレンスルーム クロネコヤマトの宅急便でお馴染みのヤマトホールディングス㈱は、 15:15~16:45 2019年11月29日に創業100周年を迎えました。今回は、100 周年記念事業として取り組んだ企業アーカイブ構築、歴史館設立、社 講師 白鳥 美紀 史編纂の事例と3つの事業の連動性について、2012年から8年間 100 周年記念事業に携わった、ヤマトグループ歴史館の館長が紹介 ヤマトグループホールディングス株式会社 します。 ヤマトグループ歴史館館長 ① 事例研究 株式会社ファンケルのアーカイブズ 12月15日(木) 2F 第3セミナー室 13:30~15:00 史料室を前身とした企業文化コミュニケーション室は、「アーカイブ 機能の強化により、企業文化を推進し企業価値を高めること」を目的 講師 馬見塚 陽子 として 2021 年 6 月に新設されました。我々が目指す「経営に貢献 株式会社ファンケル 企業文化コミュニケー するアーカイブス」像と、現在の活動内容や課題を共有いたします。 ション室 室長 また、今夏、自前で再構築した従業員の歴史研修の場「ファンケルヒ ストリーミュージアム」の取り組みもご紹介します。 応 用 ② 事例研究 キヤノン株式会社のアーカイブズ 12月15日(木)2F第3セミナー室 6 15:15~16:45 アーカイブ業務の基本である「保管・管理」「活用・発信」に関して 弊社がどのように取り組んでいるか、ご紹介いたします。「保管・管 理」については従来から活用している DB システムについて、「活 講師 田中 節子 用・発信」においては、本社内ショールーム「キヤノンギャラリー」 キヤノン株式会社 渉外本部 広報センター

説明いたします。

広報部 企業コミュニケーション推進課

での常設展示を基本に、定期的に開催している企画展示についてもご

→ ハイブリッド講座について

- 1) 希望の受講日をお選びください。基礎コースは $1\sim4$ の 4 回セットのみ、応用コースは $1\sim6$ の各回毎に 選択いただけます。
- 2) 会場またはオンラインどちらかの受講方法をお選びください。基礎コースは4回とも同じ方法(会場またはオンライン)となります。応用コースは各日毎に異なる方法でも結構です。
- ★ 会場・オンライン受講のレジュメ・資料等
 - ・前日までにメールでお送りします。会場参加の方は各自印刷してご持参ください。
- ★ オンライン講義の方法
 - ・オンライン会議システム Zoom を使って行います。Zoom で質疑応答も行います。
 - ・事務局からお送りする「オンライン受講について」(PDF)を事前にご一読ください。
 - ・受講者には講義前日までに Zoom ミーティングの招待リンクをお送りします。
 - ・オンライン講義の受講には、web カメラ・マイク付きのパソコンまたはタブレット端末をご用意ください。事前に Zoom のアプリ「ミーティング用 Zoom クライアント」(無料)をダウンロードしていただくとスムーズです(アプリのダウンロード https://zoom.us/download)。なお、Zoom のアカウント作成は必須ではありません。

→ 研修講座 開講要領

- 対象 文書管理、史資料管理、社史編纂、ミュージアム、図書管理等の担当者・アーキビスト
- 定 員 会 場:基礎コース 10名、応用コース 1~6 各回 10名 (いずれも先着順) オンライン:基礎コース 30名、応用コース 1~6 各回 30名 (いずれも先着順)
- 会場 東京大学経済学研究科学術交流棟・小島ホール 第2セミナー室/第3セミナー室/コンファレンスルーム 東京都文京区本郷 7-3-1 最寄駅:地下鉄「本郷三丁目」駅 東京大学本郷キャンパス赤門からすぐ キャンパスマップ https://www.e.u-tokyo.ac.jp/fservice/address/akamon-j.html
- 受講料 会員: 基礎コース (4日セット) 20,000円 応用コース 1日 (1~6 の各回) 6,000円 般: 基礎コース (4日セット) 30,000円 応用コース 1日 (1~6 の各回) 8,000円
- 申 込 下記の申込必要事項 1~8 をお書きのうえ事務局 info@baa.gr.jp までメールでお申込みください。 1 機関から複数名受講される場合、必ず人数分お申込みください。

申込締切 基礎コース締切 9月22日(木) 応用コース締切 各開講日10日前まで

支払方法 受講申込受付後に請求書をお送りしますので、指定の銀行口座にお振込ください。

修了証について 基礎コース、応用コースの全講義を受講された方には修了証を発行いたします。

第 27 回ビジネスアーキビスト研修講座 受講申込必要事項

- 1. 申込区分:会員/一般
- 2. 受講者氏名、ふりがな
- 3. 所属機関名、部署名
- 4. 住所、電話番号
- 5. 連絡先メールアドレス (講義資料や、オンライン参加の方には Zoom の招待リンクをお送りします)
- 6. 希望受講日と受講方法:基礎コース(1~4 セット)・応用コース 1~6 のうち、受講を希望する回および 受講方法(会場またはオンライン)をお書きください。基礎コース 4 回は同じ受講方法となります。
- 7. 担当業務内容・経験年数 (講義の参考にいたします。差し支えのない範囲で簡単にお書きください)